



②



①



⑤



③



④



⑥

①日生中央サピエのイベント ②ささゆり公園の滑り台  
③ササノオノミコトをイラスト化した看板 ④いながわ  
ショートフィルムコンテストで登場した絵画 ⑤広根から  
の風景画 ⑥安全のための看板「飛び出し注意君」を制作



やました たけじ  
**山下 武二**さん  
(79歳・広根ニューハイツ)

「人に喜んでもらいたい」

その想いで

落語を始めたきっかけは？

新入社員の時、職場の宴会で上司に余興を勧められ、駄洒落を織り交ぜた小話をしました。会場が盛り上がり、大勢の人が手を叩いて笑っている姿を見て、自分自身も嬉しい気持ちになりました。

なりました。社内で芸能部長とも呼ばれていたのも懐かしい思い出です。それをきっかけに、小・中学校や高校の同窓会で芸を披露するようになりました。落語をするようになったのは、約10年前、若葉地区の秋まつりがきっかけでした。その頃から「猪名笑亭若葉」と名乗り、自治会や老人会の催し、演芸発表会に出演させていただいています。

落語の魅力は？  
私を取り組んでいるのは、多くの落語家によって継承されてきた古典落語ではなく、自由に表現できる創作落語です。落語は、一人で何役もの登場人物を演じる「物語」です。身振りや手振り、話し方や声色だけで役柄を演じ分けることが難しい反面、やりがいにも感じて

います。そして、「あつ！そういうことか！」と、オチで会場の皆さんが笑顔になった時は、やっていて嬉しい瞬間です。

ほかにも何か活動を？

落語以外にも、絵を描くことが趣味で、地域の方からお声掛けいただき、素戔嗚神社の出入口にある看板や広根地区内にある飛び出し注意の看板を制作したほか、子どもたちに宇宙旅行を楽しんでもらおうと、滑り台に絵を描いたりしたこともありました。また、いながわショートフィルムコンテストに出展した娘の作品の一部でも、私の絵が登場するので、ぜひご覧ください！

これからの目標は？

今まで取り組んできた落語や絵画は、人に喜んでもらいたいという気持ちで共通しています。また、これらを通じてできた、人との出会いやつながりは私の財産です。これからも、自分ができることを微力ながら続けていきたいと思っています。



▲「瞬トキメキ」の掲載希望者を随時募集中。  
※詳細は町ホームページ